様式第７-５号（第11条関係）

耐風診断調査票（二次診断）

【木造住宅耐震（診断・改修）事業等補助金用】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 対象 | 項目 | 記入欄 | |
| 調査担当 | 会社名・代表者 | 会社名：　　　　　　　代表者名： | |
| 所在地 |  | |
| 連絡先 | TEL：　　　　　　　　Mail： | |
| 診断資格者名 | 氏名： | |
| 診断者の資格 | □瓦屋根診断技士　□瓦屋根工事技士　□かわらぶき技能士（1級、2級）  □建築士（1級、2級、木造）　□その他 | |
| 依頼者 | 氏名 | 様 | |
| 対象建物 | 住所 |  | |
| 瓦の種類 | □Ｊ形　□F形　□S形　□PC瓦　□その他（　　　　） | |
| □防災瓦　□非防災瓦 | |
| 構法 | □引掛け桟　□土葺き　□接着補強　□その他（　　）  □不明（　　　） | |
| 平部 | 桟瓦の留め付け | □全数　□千鳥緊結　□（　）枚おきに留め付け　□無緊結  □不明（　　　） | |
| □くぎ（1本以上）　□ねじ（1本以上）　□緊結線　□その他（　）□不明（　　）  □瓦の種類がF形かつ非防災瓦である場合、くぎ等2本以上で緊結 | |
| 劣化・損傷等の状況 | □劣化等なし　□劣化等あり　□不明（　　　　）  部位：□瓦　□接合部　□瓦桟木　□下葺き材（種類：　）  状態：□割れ　□浮き　□ズレ　□飛散・脱落　□損傷  □その他（　　　） | |
| 軒部 | 軒瓦の留め付け | □全数3点緊結　尻部（2本以上）：□くぎ　□ねじ　□緊結線  　　　　　　　　補強（1本以上）：□パッキン付ねじ　□7形くぎ　□緊結線  □全数補強なし　□補強なし　□不明（　　） | |
| 劣化・損傷等の状況 | □劣化等なし　□劣化等あり　□不明（　　　　）  状態：□割れ　□浮き　□ズレ　□飛散・脱落　□損傷  □その他（　　　） | |
| けらば部 | 袖瓦の留め付け | □全数3点緊結　尻部（2本以上）：□くぎ　□ねじ　□緊結線  　　　　　　　　補強（1本以上）：□パッキン付ねじ　□7形くぎ　□緊結線  □全数補強なし　□補強なし　□不明（　　） | |
| 劣化・損傷等の状況 | □劣化等なし　□劣化等あり　□不明（　　　　）  状態：□割れ　□浮き　□ズレ　□飛散・脱落　□損傷  □その他（　　　） | |
| 棟部 | 棟の種類・状態 | □冠瓦伏せ棟の場合 | 冠瓦の固定：□全数留め付け　□（ ）枚おきに留め付け □なし  　　　　　　□ねじ　□くぎ　□緊結線　不明（　　　） |
| □のし瓦積み棟の場合 | 大棟（ ）段　隅棟（ ）段　□下り棟（ ）段  冠瓦の固定：□ねじ　□トンボ（棟芯あり）　□トンボ（棟芯なし）　□大回し等　□なし　□不明（　　　　　）  のし瓦の固定：□緊結線（相互緊結）　□なし　□不明（　　　　） |
| 劣化状況 | □劣化等なし　□劣化等あり　□不明（　　　　）  状態：□浮き・ズレ　□脱落　□損傷　□緊結材の切れ・浮き  　　　□しっくいの劣化　□その他（　　　　　） | |
| 谷部 | 谷部の状況 | □劣化等なし　□劣化等あり　□不明（　　　　）  状態：□瓦の浮き・ズレ・脱落　□板金の孔開　□その他（　　　　　） | |
| 改修が必要な部位★ | | □平部　□軒部　□けらば部　□棟部　□谷部　□その他（　　　） | |
| 診断結果 | | □地震又は強風により脱落・飛散するおそれが低い。（上記「改修が必要な部位」がない） | |
| □耐震性・耐風性を確保するためには改修の実施が望ましい。（上記「改修が必要な部位」が1つ以上ある） | |
| 所見・要望事項 | |  | |

※下線は令和２年国土交通省告示第1435号により改正（令和４年１月１日施行）された昭和46建告第109号の規定に対応する仕様を示す。

※著しく損傷・劣化等している場合は、その状況や位置が分かるように写真を撮影し、屋根伏図等にその位置と写真番号を示す。

★「改修が必要な部位」が告示基準に適合する場合、原則、その部位の改修工事については補助対象外とする。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| □屋根伏図　□その他（　　） | | |
| （写真を添付） | | （写真を添付） |
| 改修が必要な部位 | | 改修案 |
| □1階  □2階 | □平部　□軒部　□けらば部  □棟部（　棟）　□谷部  □その他（　　　） |  |
| □1階  □2階 | □平部　□軒部　□けらば部  □棟部（　棟）　□谷部  □その他（　　　） |